



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

令和元年9月12日（木）発行 No.22 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



素敵な塩川小学校に高める要素！？

今年は、「素敵な姿」を本物（いつでも、どこでも、誰もが、素敵な姿を発揮する）にすることが目標です。

「素敵」を形づくる要素は、①規律と礼儀 ②教え合い学び合いの態度（子育ての文化） ③全力を出し切る の3つをあげていますが、自他を「尊重」する態度は、基盤となる最も大切なものと考えています。

自己肯定感と友達肯定感を高めれば、互いに協力し合い高まり合う集団、いじめのない学級・学校など、素敵な子ども、学校に高まると考えます。



ともだちのよさを伝え合う授業の様子

自己肯定感と、友達肯定感を高める

5年生は、福島県教育センター指導主事とのTT指導で、自己肯定感と友達肯定感を高める、「よいとこさがし」の授業を受けました。この力は、本校で力を入れている自治的な学級づくりと対話的な授業づくりにも必要なものです。

授業では、自分のよさを、15項目（やさしい、元気、根気強い、頭がいい等）の中から選択したり、友達から教えてもらったりしながら、自分の知らなかったよさを友達に教えてもらいました。

授業を通して、「知らなかったいいところを教えてもらってうれしかった。」「友達のいいところを話しかう授業は、とても楽しかった。」等の感想がありました。



みんなとてもよい表情をしていました。また、とても和やかな雰囲気でした

【授業の感想】

- 自分のよさを友達に気づいてもらったり、友達に見つけてもらったりすることで、そのよいところを伸ばしていきたいと思いました(F. S)。
- もっと友達と仲良くして、あまりしゃべらない人ともしゃべってみたいと思いました(S. H)。
- 友達が私のよいところを伝えてくれて、自分にはこんなよいところがあるんだなと思いました。私にはどんないいところがあるか見つけていきたいです(S. Y)。
- 自分に親切が少ないと思っていて、でも二人が「親切」と言ってくれました。今度は、もっと親切になって思いやりがある人になろうと思いました(F. Y)。
- 友達から見た自分のよさがわかって、心が明るくなりました(A. K)。

「友情が深まったと思います。」

自治的な学級づくりの一環で、福島県教育センター指導主事とのTT授業、「無人島SOS」という授業（学級活動）が行われ、6年2組の児童は友情を深め合いました。

授業は、無人島に漂着したときに、必要なものは何かを選び、その理由を説明しながらみんなで必要なものを決断する授業でした。

子ども達は、班ごとに激論しながら、それぞれの考えのよさを共有していました。みんなで問題を解決していく一体感を味わうことをとおして、友情を深めていました。



どの班も、激論が交わされました。

【授業の感想】

- 友達の意見をきちんと聞く大切さがわかりました。仲を深めることができてよかったです(K. S)。
- みんなと協力できたし、みんながいろいろな意見を言って話し合うというのもいいなと思いました(Y. Y)。
- 友達の意見を聞いて、自分で考え直すことができました。友達の考えを聞くと、なるほどと思いました(K. W)。
- こういった授業をしたことがなかったから、今日の授業はとても楽しかったです。友達の意見もよかったです(E. R)。
- 自分の意見を説明したり、友達の説明を聞いたりした。グループの人と友情を深められた(S. T)。